

多様な主体と取組むESD推進事業について



静岡県地球温暖化防止活動推進センター
センター次長 服部乃利子



静岡県地球温暖化防止活動推進センターとは

- 1998年制定された「温暖化対策推進法」に基づき、各県に1をもって指定されている温暖化対策のための拠点センター。 全ての都道府県に設置されています。
- 静岡県は、3年に一度の公募制。
2004年、県知事より温暖化防止をミッションとする特定非営利活動法人アースライフネットワークが指定を受け、6期連続、現在17年目。
- 県内自治体や企業・団体、学校、県民と連携しながら、ユニークでかつ実効性のある地球温暖化防止のための様々な取り組みを実施しています。



①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(小学生向け)



➤ 小学校と連携：
放置竹林についての学び
竹活用例：ドーム作り等



➤ 動物園と連携：
オランウータンの生態・
森・パーム油(私たちの
生活)をつなぐワーク



➤ 児童クラブと連携
環境マークビンゴ
エコバッグ作り



➤ 企業と連携：
親子エコクッキング教室
スーパーマーケット探検

①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(中高生向け)



- 中学生
グリーンコンシューマー講座
買物からライフスタイルを考える



- 高校生
温暖化防止アプリで高校
生活を楽しく！
ファシリテーションワーク



- 高校生：
SDGsキャリア教育
NPOで働くこと、行政・企業
との連携を学ぶ場

①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(中高生向け)



➤ 高校生
グローバル気候マーチ
小中高全国気候サミット



➤ 高校生
地層処分について考える



➤ 高校生
再生可能エネルギーが描く未来

①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(大学生)



- 世界気候マーチ2021
Fridays For Future Japanと
連携したオンラインマーチ



- 動画プロジェクト
大学生の声を活かした
「エコ生活様式」動画作成
授業: 持続可能な消費



- 大学祭
ストップ温暖化アプリPR
ブース出展

①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(一般)

➤ 公民館・自治会講座



➤ 環境学習指導員・推進員研修



➤ 企業と連携(職員研修・ライオンズクラブ・SDGs講座)



➤ プロスポーツと連携



➤ SDGsセミナーin静岡開催



①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(小学生)

みんなで アース・キッズ チャレンジ

●2019年度 エコリーダーたちの取り組み結果

2019年度は静岡県内で**5,400**人のエコリーダーが誕生しました!!
みんなが

★取り組んでくれた作戦の数……28,709個

★一週間で減らすことができた二酸化炭素排出量…9,361.9kg

2Lのペットボトル……2,508,990本分!!!!



94校 関わった先生

- ・子どもたちがエコリーダーとなり、学校や家庭で地球温暖化防止に取り組むプログラム
- ・小学校高学年が対象で、学習指導要領を取入れつつ、総合的な学習の時間などとの連携をはかりながら実施します。
- ・体験型の授業を通じて、楽しくチャレンジに取り組みながら子どもたちの気づきや主体性を育みます。
- ・小学校・県温暖化防止センター・地域・企業・メディア・県内市町・静岡県による協働事業



静岡県地球温暖化防止活動推進センター

4 質の高い教育をみんなに	7 土壌・水・森林を元気に	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 海の豊かさを守ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
---------------	---------------	------------------	----------------	-----------------	--------------	----------------------

協力して頂いた
地域の方々
のべ391人

19市6町
で実施!

市町 静岡県

アース・キッズチャレンジは、新学習指導要領に定められた「持続可能な社会の創り手」の育成のための学びを提供しています。

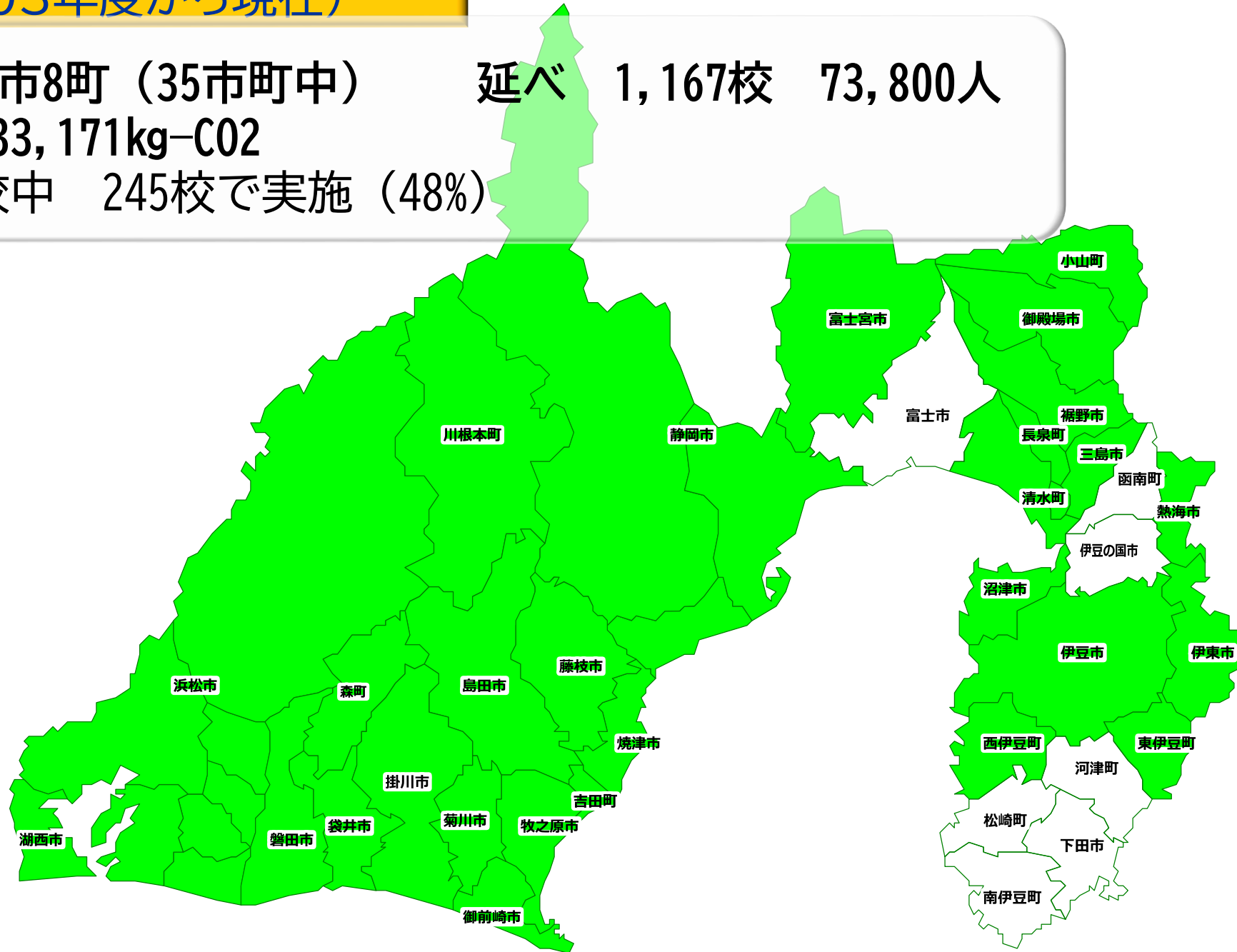
実績(2003年度から現在)

実施市町 20市8町 (35市町中)

延べ 1,167校 73,800人

C02削減量 133,171kg-C02

全508小学校中 245校で実施 (48%)



【三者打合せ】

実施にあたりセンター・市町・先生
と事前の打ち合わせを行います

プログラムの流れ



ワークブック

家庭で取り組むこと

【事前学習(1週間)】

1. メーターの数値をチェック!

電気・ガス・水道のメーターの数値や燃えるごみの重さを1週間調べる

【家庭での実践(10日~2週間程度)】

3. エコ生活にチャレンジ!

- (1) 家の中のむだをなくす作戦を立てる
- (2) 作戦を実行しながら、1週間メーターチェックをする
- (3) まとめ・ふり返り

学校で取り組むこと

【体験学習(2時限)】

2. キックオフイベント

- (1) 温暖化ミニ講座
 - (2) グループワーク
- 自転車発電/ごみ分別ゲーム/エコ生活大作戦

体験しながら
学びます!



自転車発電



ごみ分別ゲーム



エコ生活大作戦

ワークブックを市町へ送付

市町からセンター



エコリーダー認定証

一人一人異なる
メッセージを作成します



エコリーダー認定証の授与を行い、今後も継続して取り組みを行うように促します



【事後学習(1時限)】

4. セレモニー

- (1) 取り組みの結果発表
- (2) エコリーダー認定証の授与
- (3) まとめのお話

子どもたちが考えた作戦の数や実践による二酸化炭素の削減量を発表します



①これまでの持続可能な社会の担い手づくり(小学生)

ミニ講座 「なんか変地球が熱い」



ゴミ分別ゲーム



エコ生活大作(ワーク)



エコリーダー認定授与



電気を作ろう！自転車発電



今年度は80校(4,700人)で実施中

②これからの持続可能な社会の担い手づくり

➤ 未就学児&保護者へ 伝える仕掛け



◆校庭芝生化応援団(人的支援)

企業・団体・自治体・プロサッカーチーム等で校庭芝生化を支援

➤ 体系的プログラム作成

- ・学齢に応じ、体系的に学ぶことができるプログラム
- 教育委員会との連携（小学校低学年→中学年→高学年→中学生）

➤ 教員向けESD学びプログラム

- ・教育センターと連携実施
(教員がいつでもアクセスできるような情報プラットフォームも)

➤ ESDオープン塾

- ・大学の駅前キャンパスなどと連携

いつでも自由にESD・SDGs等が学べる人材育成のための環境作り

➤ NPO主催SDGsアワード

- ・NPO視点で、事業・自治体の取組みを評価し表彰する(普及啓発)

③これから求められるネットワークの姿

➤ 企業との連携強化(CSR⇒CSVへ)

企業の社会的責任 ⇒ 事業活動を通じて社会課題を解決する
(社会貢献と企業側の利益の両立)

職員研修、NPOとのマッチング、金融機関との連携(ESG投資)、活動の事業化

➤ メディアとの連携・SNSの活用

報道関係との情報共有化、

発信力のあるインフルエンサーやSNSコンサルタントと繋がる

➤ DX(デジタルトランスフォーメーション)に対応した取組み強化

一人一台タブレット体制に対応したプログラム作り(withコロナ対策も有効)